

【ご参考】 2023年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

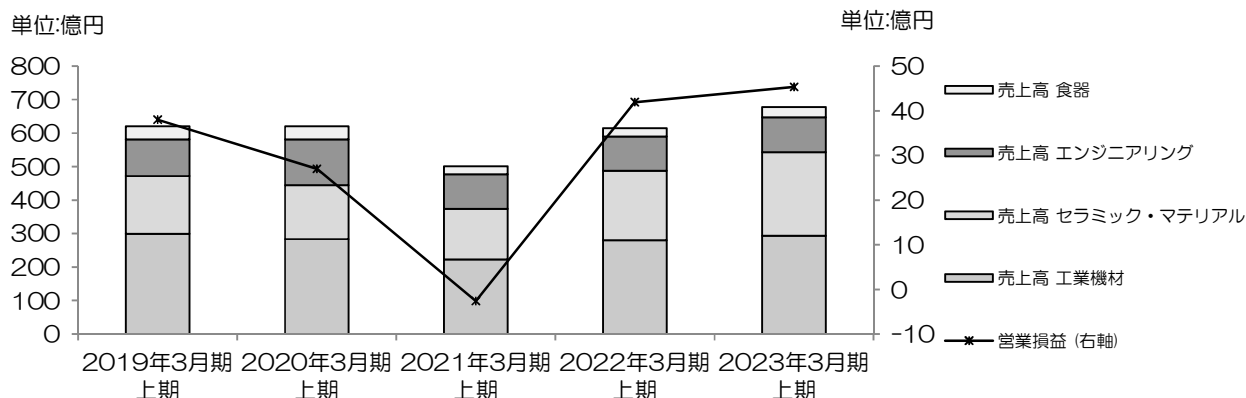
【業績】
売上高 678億円（前年同期比 63億円増収） US\$26.85円の円安、THB 0.29円の円安、CNY 3.15円の円安 により、売上高 21.8億円増加 営業利益 45.3億円（前年同期比 3億円増益） 経常利益 65.8億円（前年同期比 9億円増益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 52億円（前年同期比 10億円増益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別損失 1.5億円：固定資産処分損 1.5億円等
【中間配当金】
中間配当 90円/株（前期中間70円/株） 期末配当90円/株 予定（前期期末80円/株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	299	283	223	280	293	13
	セラミック・マテリアル	173	161	151	208	250	42
	エンジニアリング	109	137	103	102	104	2
	食器	39	39	24	25	31	6
		620	619	502	615	678	63
営業利益	工業機材	10.2	2.3	△ 15.9	12.5	14.8	2.2
	セラミック・マテリアル	20.8	12.7	10.1	28.8	28.0	△ 0.9
	エンジニアリング	12.1	15.7	9.7	7.8	5.6	△ 2.1
	食器	△ 5.1	△ 3.8	△ 6.5	△ 7.2	△ 3.1	4.1
		38.0	26.9	△ 2.6	41.9	45.3	3.4
(売上高営業利益率)		(6.1%)	(4.3%)	(△0.5%)	(6.8%)	(6.7%)	-
経常利益		49.6	37.2	6.6	56.9	65.8	8.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益		40.8	28.1	△ 0.2	42.1	51.8	9.7
1株当たり四半期純利益		283.92円	195.56円	△ 1.44円	291.4円	358.61円	-
1株当たり純資産		7,147.09円	7,245.02円	7,083.18円	7,882.09円	8,652.56円	-
US\$ 為替レート		108.5円	110.0円	108.2円	108.5円	135.3円	-

売上高及び営業損益の推移（2019年3月期上期-2023年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	8	10	16	10
セラミック・マテリアル	7	7	6	8
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	2	2	1	1
管理部門	6	4	1	4
合計	25	23	25	24

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2022年9月	対前期比
有利子負債※	48	51	79	65	95	30
現金及び預金	141	126	123	142	131	△ 10
ネット有利子負債	△ 93	△ 75	△ 44	△ 77	△ 36	40

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2023年3月期の予想**(1) 重点施策**

長期ビジョン（ありたい姿）「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を実現するため、今後の成長が期待される「環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング」を成長領域と定めて「選択と集中」を進めます。また、第12次中期経営計画は、「収益基盤の強化と成長領域への仕込み」の期間と位置付け、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めます。

【工業機材】

- ・事業をオーダーメイド品と汎用品に再編することで、効率的な事業体制を構築します。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制を確立します。さらに、徹底した収支改善、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。
- ・汎用品事業では、連結子会社である日本レチボン株式会社と株式会社ノリタケコーテッドアブレーションを2022年10月1日付で合併しました。この合併により、経営基盤の効率化と製造・販売体制の再編を行い、収益力を強化します。また、エレクトロニクス向け製品の増産体制と、成長領域への進出に向けた製造・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と生産能力の増強によるシェアの拡大、新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強と物流倉庫整備を行い、事業の拡大を図ります。また、成長領域における新商品の開発を進めます。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。

【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化により、シェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。

【食器】

- ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めると共に、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等の主要国での拡販に取り組みます。

【設備投資金額】

設備投資 60億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

		2022年	2023年3月期 業績予想			
		3月期	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	573	293	307	600	27
	セラミック・マテリアル	407	250	245	495	88
	エンジニアリング	236	104	156	260	24
	食器	60	31	34	65	5
		1,276	678	742	1,420	144
営業利益	工業機材	30.6	15	15	30	△ 1
	セラミック・マテリアル	54.2	28	14	42	△ 12
	エンジニアリング	20.5	6	15	21	1
	食器	△ 11.8	△ 3	0	△ 3	9
		93.5	45	45	90	△ 3
経常利益		125.1	66	59	125	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益		90.7	52	48	100	9

(下期想定為替レート US\$=140円)